

食欲の秋に美味しいご飯を

日本人にとってかせない白米。炊飯器を買う時、どの様な基準で選んでいますか？購入時のチェックポイントをご紹介します。

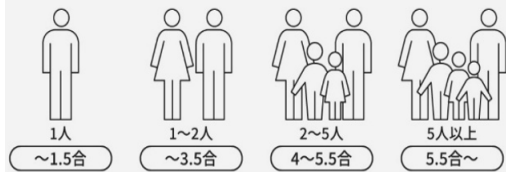
POINT 1 炊飯量をチェック 0.5合でお茶碗約1杯分を参考に

※画像は一例炊飯器です

迷ったらこのサイズ

ひとり暮らしに おすすめ

大容量に おすすめ



POINT 3 炊き分け機能やコースをチェック 普段の食卓を豊かに！おすすめ機能はこちら

銘柄米の炊き分け

それぞれの

銘柄米の個性を引き出し

おいしく炊き上げる！

好みの食感で炊き分け

家族の好みや

その日のメニューによって

お好みの食感を選べる！



ガパオライス

リゾット

POINT 4 内釜の素材をチェック 素材によって、発熱性・熱伝導性・蓄熱性がことなるため、ごはんの炊き上げを左右します。



POINT 5 使いやすさとデザインをチェック 毎日使うものだからこそ使いやすく操作性にも優れたデザインを。



POINT 2 加熱方式をチェック 今の主流はIH(圧力IH)方式

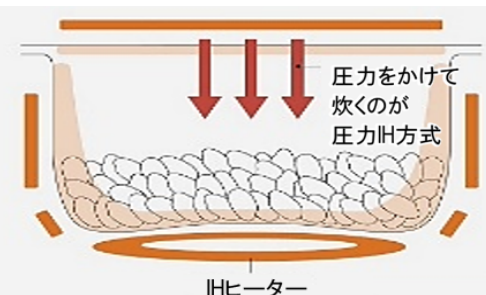
IH(圧力IH)方式

◎釜全体が発熱するため、炊きムラが生じにくい。
◎火力を調整しやすく、保温や炊き分けなど高機能
△仕組みが複雑になるため重量が大きい

△マイコン炊飯器に比べて価格が高い傾向

マイコン方式

◎シンプルな仕組みで価格がリーズナブル
△炊く量が多いと、炊きムラが生じやすく、炊飯容量が小さい機種が多い



IHで内釜を発熱させて加熱する方式。圧力機能が備わった機種は、加圧することで水の沸点を上昇させ、高火力でお米を炊き上げます。

鈴庄 由佳

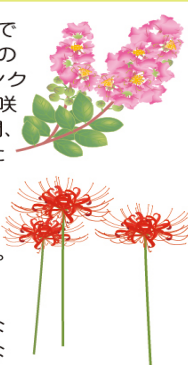
蝉時雨から秋の虫の声に

蝉時雨(せみしぐれ)は、蝉がいっせいに鳴き始め、まるで時雨が降ってきたように大音量で蝉の声が聞こえることをあらわしています。まさに、夏の風物詩ですね。夜明けとともに蝉時雨が聞こえ暑い日々を過ごすのですが、猛暑が終わるころ、蝉の声がいっさい聞こえなくなると秋の気配が感じられるようになります。公園や野原に行くと、秋の虫の声が聞こえるようになります。まるで、夏の疲れを癒すような穏やかな声です。実際に虫の声には、リラックス効果があるという研究もあるようですから、ゆったりと虫の声に耳をかたむけてみるのも良いですね。



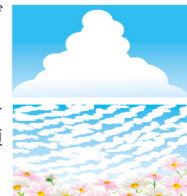
百日紅から彼岸花に

盛夏から晩夏にかけて、街路樹やお庭でよく見かける百日紅(さるすべり)。緑の木々が茂った景色の中で鮮やかなピンク色や白色の花を咲かせています。花が咲く時期が7月~9月で、およそ100日間、ということから百日紅の名前がついたとも言われています。「さるすべり」という名前は、幹が滑るという意味から、このように呼ばれているようです。彼岸花は、秋のお彼岸に咲くことからこの名前がついたとも言われています。全国には、棚田のあぜ道や公園、寺社などでまるで赤い絨毯のような鮮やかな景色に出合える名所があるようです。



入道雲からうろこ雲に

夏と言えば入道雲ですね。気象学的には、入道雲は「積乱雲」と呼ばれる雲の俗称です。盛夏、そびえたつ山並みのようにわき立つ雲。強い日差しを受けて発生する激しい上昇気流により、もくもくと巨大な積雲に成長していく姿は、青い空を背景にし、暑さとともに圧倒されそうになります。あまりの暑さに空を見上げることも忘れてしまうと、気付けば、澄んだ高い空に、秋の代表ともいえるうろこ雲が、壮大に広がっています。秋の訪れは、とても清々しい空で気付くことがありますね。残暑がすぎた頃空を見上げてみましょう。



もう、暑いのは勘弁してください



さわやか♥ライフ
Teraidenki
大津市松本2丁目11-17
☎ 522-2532
☎ 524-3934